

# 西濃農林事務所の普及活動状況

平成28年6月30日現在

## 今月の重点活動

### ■小麦 「さとのそら」実証試験終了 全域

小麦の「農林61号」は平成29年産から全面的に「さとのそら」に切り替わる。農業普及課ではこれまで先行して切り替えを行った養老町で14か所、その他の市町で12か所の実証ほを設置し、円滑な切り替えのための調査を行ってきた。

他方、平成28年産の小麦は5月の高温で登熟が早まり、農業普及課は当初のカントリーエレベーターの稼働予定を前倒しして稼働させるように支援を行い、「イワイノダイチ」は5月27日から、「農林61号」は6月3日から、「さとのそら」は6月2日から収穫し、全量適期収穫で収穫終了することができた。収量に関しては確定数値は出ていないが、実証ほの坪刈成績や荷受け量等から「さとのそら」は「イワイノダイチ」と同等の単収を確保できたと思われる。

また、西濃地域には小麦の採種ほが設置されており、農業普及課で栽培期間を通じた品質管理を支援しているが、29年産の「さとのそら」の種子については、「原種種子」「一般種子」とも発芽率95%以上を確保でき、品質審査も合格した。原種種子については美濃種子センターで、一般種子については養老北カントリーエレベーターで保管されているが、荷受け重量は十分あったことから、必要量は確保できたと思われる。

## 多様な担い手づくり

### ■関ヶ原町松尾地区 松尾営農組合 法人化説明会の開催

5月21日に関ヶ原町松尾地区で法人化説明会を開催した。

説明会に際して、事前に趣意書及び法人構成員としての参画を問うアンケートを実施して法人化の目的や運営方針などの周知を行い、当日は改めて法人参画の意思確認、また設立までのスケジュール確認などが行われた。

法人移行後は、集落内農地の集積を進め、栽培品目のブロック化を図ると同時に、これまで取り組んでこなかった大豆、小麦、飼料用米などの栽培にも取り組み、経営の安定と継続的営農の推進を図っていく。農業普及課としては、新たに取り組む品目への栽培指導支援や経営支援などを行っていく。なお、6月25日に設立総会を開催し、農事組合法人として活動を開始した。

## 売れるブランドづくり

### ■関ヶ原コンニャクグループ・女性農業経営アドバイザー

#### 関ヶ原 2016 イベントにて野菜等販売

6月18日、19日に開催された「関ヶ原 2016 第二弾～徳川家康～」のイベントの中で、関ヶ原コンニャクグループと女性農業経営アドバイザーが関ヶ原駅前の観光交流館にて野菜市を行い、こんにゃく、茶、米、たまねぎ、トマト他を販売し、観光客をはじめ地元住民に西濃地域の農産物のPRを行うことができた。地元の関ヶ原コンニャクグループでは、今回のような販売を定期的実施できたらよいと、会員同士で話し合っていた。



【野菜市の様子】

## ■ブロッコリー **ブロッコリー肥料改善**

5月27日にブロッコリー安八部会総会及び反省会が開催された。反省会において、農業普及課から昨年のブロッコリー生育状況、品種別の問題点について説明し、28年の品種組み立て及び効果的な病害虫防除等について提案した。また、27年は出荷後の黄化等の問題が発生したことより、生産者から鮮度保持方法について実施していくべきではないかとの意見がでており、農業普及課から鮮度保持袋等を利用した試験を今年度行うことを説明した。

## ■甘長ピーマン **高温・少雨対策**

本年は、春先から気温が平年より高く推移したことと、5月中旬からの高温・少雨の影響により尻腐れ果、うどんこ病、ハダニ、アブラムシ、アザミウマの病害虫発生が増加しており、ほ場巡回を強化し、注意喚起および防除指導を行っている。

部会役員のほ場において行っている赤色ネット、天敵昆虫を用いた害虫防除の試験では対象害虫の発生が抑えられており、効果が得られている。今後も定期的に調査を続けていく。

## ■えだまめ **目揃会が開催**

5月14日に牧園芸組合えだまめ部会の出荷目揃会が開催され、出荷規格、出荷方法の確認が行われた。農業普及課からは主にハウス栽培で問題となっているダイズシストセンチュウ対策について、発生状況と今後の対策について指導を行った。

5月23日には海津枝豆部会の出荷目揃い会も開催され、西濃地域のえだまめの本格的な出荷が始まった。ハダニ等病害虫防除の発生と土壌水分管理の徹底により、収量確保と品質向上を推進する。



【目揃えの状況】

## ■なし **梨の袋かけ作業が始まる** 大垣市

5月下旬から梨の袋かけ作業が始まった。早生品種各種、「幸水」から袋かけが始まり、曾根梨部会では市場出荷される「なつしずく」の果実すべてに品質向上対策のための透明果実袋がかけられた。

一部地域では病害虫の発生が観察され、農業普及課からはハダニ類、ナシマルカイガラムシ防除適期に関する速報の配布、黒星病防除に関する情報提供を行い支援を行った。

## ■きゅうり **28年産栽培終了間近**

28年産半促成、促成栽培が6月末で終了となる。今年作の品種、病害虫発生状況、灌水・温度管理等を現地巡回やアンケート調査により、取りまとめている。その結果や改善対策を6月17日胡瓜部会反省会で報告した。

5月下旬までの販売実績（3か年対比）は、累計数量：99%、単価：103%、金額102%。今作は日照に恵まれ、気温が高かった影響で、出荷ピークの最初が3月下旬と前進し、5月が前年より減少したものの全体としてはまずまずの出荷量となった。6月は例年より早い切りあがりである。

## ■トマト **池辺園芸トマト組合研修会開催**

池辺園芸トマト組合研修会が6月3日にJAにしみの池辺支店で開催され、平成29年産に向けての栽培管理（還元土壌消毒、炭酸ガス施用の効果、定植前後の祭場管理）について普及課より説明をした。特に今年の夏は、ラニーニャ現象の影響で高温で残暑がきびしく、夏～秋にかけて台風の発生が多くなると予想されるため、台風被害や害虫の多発が懸念されるため、事前の対策を行うように話をした。